

令和7年度 事業報告書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

I 事業概況

【全国の情勢】 我が国経済は緩やかな回復基調との評価が一般的ですが、日々激動する国際情勢に伴う不確実性は著しく、円安基調からの燃油をはじめとした諸物価高騰下において、賃上げ率は3年連続して5%超の引き上げや長期金利上昇などインフレ進行は徐々に高まっており、更にはイラン情勢の悪化により、本来なら大きな恩恵であった軽油の暫定税率廃止も既に雲散霧消したかのような状況です。

バス事業については、3年にわたるコロナ禍による運転者数減少に加え、働き方改革施行による拘束時間の縮減などにより、人手不足が一層顕在化しており、深刻な状況まで追い込まれています。



このような中、日本バス協会では、令和7年11月11日、自由民主党本部8階ホールにおいて3年連続となる「バス危機突破 総決起大会」を開催しました。

当日は、全国からバス業界関係者約300名が集集し、バス議員連盟を中心に60名の自民党国会議員の先生方や、国土交通省幹部の皆様にもお越しいただき、深刻な運転士不足や燃料高などの危機的な状況を訴え、人材確保や路線の維持など各種対策への支援を強く求めました。

【県内の情勢】 乗合バスについては、人口減少と少子高齢化の進展により旅客数は年々減少傾向にあり、収支は運賃改定効果もあって改善傾向にはあるものの、新しい生活様式の定着等から、利用者数はコロナ禍以前の実績にはほど遠い状況が続いています。

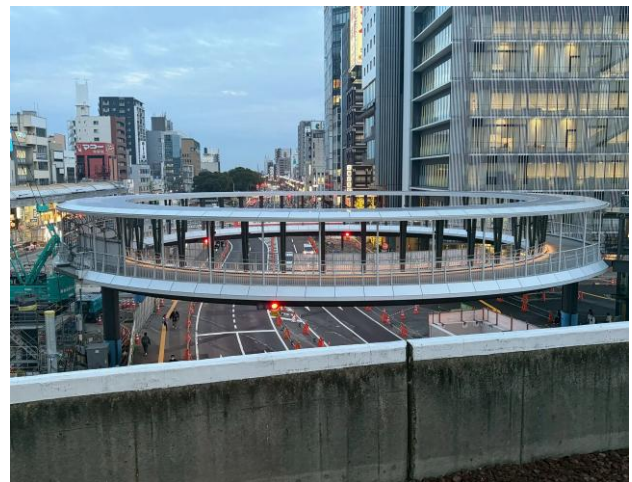
加えてドライバー不足の状況は深刻で、日に日にその度合いは増すばかりですが、このような状況下にあっても地域の利用者利便確保の観点から、高速バス路線の一部休止や整備士の早朝便乗務をはじめ、やむを得ず利用者への影響を最小限に押さえての減便等のあらゆる手段講じて通勤・通学客の足の確保に日々奔走している現状です。

貸切バスは、万博等の大型イベントや秋の運賃・料金の改定により生産性は大幅に向上しましたが、修学旅行等が一時期に集中する傾向にあることから、運転者不足も手伝って受注を取りこぼす状況が頻発しています。

今回の貸切運賃改定については、「上げすぎ」や「客離れ」を危惧する声も一部にはありますが、賃金等で全産業平均と比較して大きく水をあけられた現状での要員確保は容易ではなく、今後は運賃改定を原資に、好調な他業種と比較して後れを取っていた給与面を主に職場環境等の待遇改善につなげていくことこそが重要となります。

一方、インバウンドは2008年の観光庁発足当初の目標であった4千万人を超え、過去最高となる年間4,268万人を達成しました。インバウンド取り込みが少ない当県では、令和6年は令和元年と比べてインバウンド回復率が全国47位という不本意な成績であったものが、令和7年は、回復率全国39位まで上昇しており、豊富な観光資源を抱えることからポテンシャルの高さに今後が期待されます。

インフラの整備状況では、令和9年度中の完成を目指す四日市バスターミナル整備事業の一環で、四日市市の新たなシンボルとなる円形デッキ「よんまるテラス」が昨年末に先行して完成・供用されました。



道路整備では、東海環状は残るは「いなべ～養老」間のみとなっており、鈴鹿四日市道路や伊勢大橋の架け替え工事等も着実に整備が進められています。

更には、名神高速道路八日市 IC 付近から名阪国道上柘植 IC 付近に至る延長約 30 km の名神名阪連絡道路が計画に着手されるなど、近い将来、道路環境は飛躍的な改善が期待されます。

以上が経過概要ですが、当協会では安全・安心を基本に、業界の意見を反映させながら、それぞれの問題に対応して事業の活性化と利用の促進を図り、地域社会から信頼される公共交通機関としての使命を達成していくため、日本バス協会をはじめ各機関との連携を密に、効果的なバス輸送の振興に資するために取り組みましたので、以下に令和7年度事業計画に基づき実施した事業について報告します。

1. 乗合バス事業関係

協会では、地域の皆様に愛される公共交通機関としての責務を果たし、引き続き安全性・利便性の向上を図るとともに、広く県民へのバス事業が持つ公共性・重要性についてのPR活動によって利用促進につなげるべく、毎年、各行政機関等と連携して9月20日のバスの日を中心に取り組んでおり、今期もこれまでとほぼ同様に下記のとおり実施しました。

(1) 「バスの日」(9月20日)を中心とした利用促進PR



バスの日前日の9月19日(金)、近鉄・JRの三重県内主要鉄道駅前10駅12ヶ所において、三重運輸支局、三重県地域連携・交通部交通政策課、各自治体のご協力を得て、バスの持つ安全性・快適性・利便性を伝えるべく街頭PR活動を実施しました。

(2) 「バスの乗り方」クリアファイルの配布

協会では「いつでも、どこでも、みんなのバス」を合い言葉に、バスが持つ優れた安全性や地球環境保全への高い貢献度を知っていただくため、三重県内の小学校2年生の児童が学ぶ「生活科」の

授業に活用されるべく、私立・国立を含む県下全小学校にバスの乗り方クリアファイルを配布しました。

(3) 各イベントでの利用促進PR

各機関と連携・協働して、各イベントにおいて「お絵かきバス」「バス乗務員制服試着コーナー」

を設けてこれに参画し、バスの持つ環境面での優位性と安全性・快適性・利便性のPR活動を行ってきており、10月に「津まつり」、「みえ交通安全・環境フェスタ」に参加し、多くの来場者にバス事業をPRすることができました。

(4)「バスの乗り方教室」の実施



地域における公共交通の存在が危機的状況になっています。少子高齢化進展の中、地域の足を確保していくためには、公共交通の果たす役割への正しい認識や愛着心などの醸成を図り、地域が中心となって「乗って、守り、育てていく」ことが重要となります。

また、マイカー普及に伴う昨今のバス離れに伴い、バスの乗り方を知らない人は年々増加してきている状況です。

このため、バスに慣れ親しんでもらい、バスの良さを実感していただくとともに、環境にやさしいバスについて理解を深めていただくため、「バスの乗り方教室」を開催しており、今期は合計で17回開催しました。



2. 貸切バス事業関係

平成28年1月15日（金）午前1時55分頃、長野県軽井沢町の国道18号線碓氷バイパス入山峠付近において、貸切バス（乗員乗客41名）が反対車線を越えて崖下に転落、乗員乗客15名（乗客13名・乗員2名）が死亡、乗客26名が重軽傷（骨折等の重傷17名・軽傷9名）を負う重大な事故が発生し、本年1月に10年目を迎えました。

この事故は、安全意識が欠如した低劣な貸切バス事業者が起こしたものです。業界全体の信頼を大きく損なうこととなり、安全対策の充実強化が求められることとなりました。

国土交通省では、事故直後より国土交通大臣を本部長とする対策本部を設置し、特別監査の実施など、緊急に対応するとともに、二度とこのように悲惨な事故を起こさないよう、徹底的な再発防止策について検討するため、有識者からなる「軽井沢スキーバス事故対策検討委員会」を設置し、「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」がとりまとめられ、これに沿って省令改正や告示改正等により、貸切バスの安全運行に関するさまざまな措置が講じられ、事業許可の更新制や民間機関による巡回指導のための負担金徴収などの法改正が行われました。

これに伴い、当協会では令和元年度に「適正化事業実施機関負担金助成事業」を創設して3分の1助成を開始し、令和3年度からは補助率を更に2分の1に引き上げ、会員の負担軽減を図っています。

また、平成27年度に創設した「貸切バス事業者安全性評価認定取得促進事業」については、引き続き申請会員13社に対し助成を行い、令和8年4月時点での当協会会員の安全性評価認定取得事業者は計20社となりました。（令和8年4月時点での全国の認定事業者数は1,804社）

なお、認定制度の新基準への移行に伴い、初の四ツ星事業者として全国で42社が認定されました。（中部ブロック管内では静岡2社、愛知1社の計3社）

3. 事故防止安全輸送対策関係

三重運輸支局・三重県・三重県警察本部の3機関及び適宜ニーズに合った講師を招いて、4半期毎に事故防止委員会を開催するとともに、メールマガジン「事業用自動車安全通信」を基に全国で発生



している事故情報を取りまとめて会員に提供する等、全ての事業者において安全優先の経営の徹底、飲酒運転の防止、運輸安全マネジメントの定着化等に努めました。

また、三重県警察本部からの要請に依って、平成27年度より実施している回送時の乗合バス前面及び側面へのシートベルト着用を促す標語を表示し、歩行者等、一般市民への事故防止啓発活動を継続するとともに、「ACTION38キャンペーン」にも引き続き取り組んでいます。

4. 運輸事業振興助成交付金事業

法制化された運輸事業振興助成交付金制度の趣旨に沿った適正な運用を図り、安全対策事業、輸送サービス改善事業等を実施しました。

主な事業は、以下のとおりです。

(1) 安全運行対策事業

- ・運転者適性診断 一般 (@2,400×328名)、初任・適齢 (@4,800×332名)
- ・運行管理者講習 基礎 (@8,900×43名)、一般 (@3,200×112名)
- ・運輸安全マネジメント研修 (@5,200×27名)
- ・無事故・無違反チャレンジ123 @2,100×745チーム
- ・ドライバー安全運転研修 中央研修所：3日12名656,400円、クレフィール湖東：1日1名27,840円(内、会員負担金370,000円)
- ・運転記録証明書等 @670×48名、@800×106名
- ・睡眠時無呼吸症候群検査 @3,000×447名、在宅式1社
- ・脳検診助成事業 1万円助成60名
- ・貸切バス安全性評価認定取得推進事業 @50,000×13社
- ・運行管理者試験対策講習会 2回開催
- ・その他安全運行対策につながる事業 事故防止会場料4回、合同セミナー3回 ほか

(2) 輸送サービス改善対策事業

- ・バス利用促進PRグッズの作成・配布
- ・小学生向けバス乗り方クリアファイルの作成・配布
- ・バスの乗り方教室の開催 計17回実施
- ・各イベント費用 「津まつり」「みえ交通安全・環境フェスタ」お絵かきバス2回実施
- ・バス利用促進新聞広告案内 中部バス協合同「9月20日はバスの日」キャンペーン
- ・その他サービスの改善・向上につながる事業及び事業者施設等の整備に対する助成

(3) 適正化事業

- ・適正化事業実施機関負担金助成事業 負担金の1/2（千円未満切り捨て）

5. 各種委員会の活動

引き続き、乗合委員会、貸切委員会、事故防止委員会、環境対策委員会及び交付金運営委員会を通じ、流動する諸問題に対処しました。

なお、各委員会の開催状況等は、次のとおりです。

(1) 乗合バス事業関係

期間中の会議等開催なし

(2) 貸切バス事業関係

◇大型イベント・バス事業者向け説明会（事故防止委員会と併催）

令和7年7月1日（三重県総合文化センター）

- ① アジア大会・アジアパラ大会説明会説明会（東武トップツアーズ株式会社）
- ② 滋賀国スポ・障スポ大会説明会（株式会社JTB）

(3) 事故防止及び環境保全業務関係

◇第1回事故防止委員会（貸切バス事業者講習会を併催）

令和7年7月1日（三重県総合文化センター）

議題 「夏の交通安全県民運動」の実施について等

◇第2回事故防止委員会（SAS オンラインクリニック説明会を併催）

令和7年9月11日（三重県総合文化センター）

議題 「秋の全国交通安全運動」の実施について等

◇第3回事故防止委員会（貸切バス運賃・料金説明会を併催）

令和7年11月19日（三重県勤労者福祉会館）

議題 「年末の交通安全県民運動」の実施について等

◇第4回事故防止委員会

（SAS オンラインクリニック説明会及び特定技能制度の解説セミナーを併催）

令和8年3月10日（三重県勤労者福祉会館）

議題 「春の全国交通安全運動」の実施について等

(4) 運輸事業振興助成交付金事業関係

◇第1回交付金運営委員会

令和7年4月28日（三重県自動車会議所会館）

議題 令和6年度運輸事業振興助成交付金事業報告及び収支精算書について

◇交付金行事企画推進委員会

秋以降の各イベント動員等については、メール連絡などにより開催省略

◇第2回交付金運営委員会

令和8年3月13日（三重県自動車会議所会館）

議題 令和8年度運輸事業振興助成交付金事業計画及び同予算について

6. バス運賃に関する適切な対応

乗合は前期、貸切は今期に運賃改定が実施されましたが、事前の周知等もあって、特段の苦情、トラブルなどは届いていません。



7. 人材確保・育成対策

平成27年3月に発足した「中部バス事業人材確保・育成対策会議」に参画し、運輸当局や中部バス協会と連携しながら、人材の確保・育成対策に取り組みました。

なお、平成28年度から実施している中部バス協会合同のバス運転士合同就職説明会（どらなびEXPO）は、10月4日、名古屋国際センターにおいて開催され当県からは4社が参加しました。

また、どらなびEXPOについては、県当局の全面的なご支援により県移住促進課も参画の上、大阪2回（5月31日及び10月18日）・東京1回（6月14日）と各会場において、多数の来場者からの各種相談等に応じました。

8. 地震防災対策等への対応

地震防災対策については、協定を締結している三重県（防災対策部）、みえ防災・減災センターと連携し、また、東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会にも参画して情報発信に努めました。

9. 広報活動の推進

平成20年度に開設した当協会のホームページ及び会員専用ページを適宜更新し、情報提供の充実に努めました。

10. 公益法人制度への対応

平成24年4月1日に公益社団法人三重県バス協会として認定を受けて以降、引き続き「バス輸送振興」を基軸に公益社団法人に相応しい事業展開に努めました。

II 会 議

1 総 会

第50回 定時総会

令和7年6月2日（鳥羽シーサイドホテル）

- 審議事項 1. 令和6年度事業報告、収支計算書及び財務諸表について
2. 理事・監事の選任について

報告事項 令和7年度事業計画、収支予算及び会費並びに入会金徴収規程について

2 理 事 会

第1回 理事会

令和7年5月12日（ホテルグリーンパーク津）

- 審議事項 1. 令和6年度事業報告、収支計算書及び財務諸表について

2. 理事・監事の選任について ほか

臨時理事会

令和7年12月1日（プラザ洞津）

報告事項 前回理事会以降の経過報告について ほか

第2回 理事会

令和8年3月27日（三重県自動車会議所会館）

審議事項 1. 令和8年度事業計画及び収支予算書について
2. 令和8年度会費並びに入会金徴収規程について ほか

3 監事会等

税理士監査

令和7年4月15日（三重県バス協会）

・令和6年度 収支決算の監査

監事会

令和7年4月17日（三重県自動車会議所会館）

・令和6年度 事業活動報告及び収支決算の監査

Ⅲ その他

1 表彰関係

(1) 中部運輸局三重運輸支局功労者等支局長表彰

・表彰日 令和7年10月21日

・被表彰者 運転者 4名（三重交通2名、三交伊勢志摩交通1名、名阪近鉄バス1名）
従事者 3名（三重交通3名）

(2) 中部運輸局功労者等局長表彰

・表彰日 令和7年10月16日

・被表彰者 運転者 3名（三重交通3名）
従事者 1名（三重交通1名）

(3) 国土交通大臣表彰

・表彰日 令和7年10月23日

・被表彰者 運転者 1名（三重交通1名）

(4) 日本バス協会観光バスガイド会長褒章

該当者なし



(5) 日本バス協会優良バス運転者会長表彰

- ・表彰日 令和7年12月1日
- ・被表彰者 8名（三重交通6名、三岐鉄道1名、三交伊勢志摩交通1名）

2 補助金の活用状況（日本バス協会）

(1) 「人と環境にやさしいバス普及事業」及び「地方路線バス及び貸切バス助成事業」

◇両事業の合計7社22両 総額 3,490千円 (単位：千円)

人と環境にやさしいバス普及事業				地方路線バス及び貸切バス助成事業			
事業者名	車両数	申請額	決定額	事業者名	車両数	申請額	決定額
三重交通株式会社	8	3,000	2,400	株式会社荒河観光	1	50	50
勢の國交通株式会社	5	500	400	合計	1	50	50
中日臨海バス株式会社	5	500	400				
神勢観光株式会社	1	100	80				
菰野東部交通株式会社	1	100	80				
株式会社伊勢国際観光	1	100	80				
合計	21	4,300	3,440				

(2) 「バス運転者の大型二種免許取得養成助成事業」

◇3社12名 総額 1,200千円 (単位：千円)

	事業者名	通常申請		貸付申請		事業者計	
		人数	申請額	人数	申請額	人数	決定額
1	三重交通株式会社			8	800	8	800
2	三岐鉄道株式会社	2	200			2	200
3	勢の國交通株式会社	2	200			2	200
合計	3社	4	400	8	800	12	1,200

IV 会員等

1 会員数（令和8年3月31日現在）

一般乗合・一般貸切旅客自動車運送事業者	11社
一般貸切旅客自動車運送事業者	19社
計	30社

2 会員の異動（令和7年度）

- ①入会事業者・・・なし
- ②退会事業者・・・株式会社 気風（令和7年12月31日）

□令和7年度の主な行事の記録

R7.	4.	4	令和7年「春の全国交通安全運動出発式」(三重県庁舎前駐車場)
		//	三重運輸支局長との意見交換会(ホテルグリーンパーク津)
R7.	4.	10	チャレンジ123令和7年度第1回実行委員会(三重県庁講堂棟)
R7.	4.	14	みえ松阪マラソン2025第1回実行委員会(松阪市産業振興センター)
R7.	4.	15	税理士決算監査(三重県バス協会)
R7.	4.	17	監事会決算監査(三重県バス協会)
R7.	4.	18	三木会(三重県自動車会議所会館)
R7.	4.	28	令和7年度第1回交付金運営委員会(三重県自動車会議所会館)
R7.	5.	9	令和7年度第1回津駅周辺道路空間再編検討委員会(アスト津)
R7.	5.	12	三重県バス協会 令和7年度第1回理事会(ホテルグリーンパーク津)
R7.	5.	14	中部運輸局次長との意見交換会(ホテルグリーンパーク津)
R7.	5.	15	国道1号桑名東部拡幅事業促進期成同盟会総会(桑名市役所)
R7.	5.	21	日本バス協会運営委員会・通常理事会(日本交通協会)
R7.	5.	22	三重県による交付金決算後監査(三重県自動車会議所会館)
		//	銘柄別改善要望ディーラー説明会(三重いすゞ自動車津支店)
R7.	5.	23	国道1号桑名東部拡幅事業促進期成同盟会要望活動(中部地方整備局)
		//	中部貸切バス適正化センター第1回理事会(WEB開催)
R7.	5.	25	バス運転体験会(四日市自動車学校)
R7.	5.	27	日本バス協会評価認定制度 訪問審査オンライン説明会(WEB開催)
R7.	5.	29	三重労働局人材確保対策推進協議会(三重労働局)
R7.	5.	30	社会を明るくする運動推進委員会(アスト津)
R7.	5.	31	豊かな海づくりフェスタ(宿田曾)
R7.	6.	2	三重県バス協会第50回定時総会(鳥羽シーサイドホテル)
R7.	6.	4	「21世紀のエネルギーを考える会・三重」総会(アスト津)
R7.	6.	5	名張市地域公共交通会議(名張市役所)
R7.	6.	9	津商工会議所交通運輸自動車部会(津商工会議所)
R7.	6.	11	中部空港バスターミナル運営協議会通常総会(名鉄バス本社)
R7.	6.	13	日本バス協会運営委員会・臨時理事会、定例総会(経団連会館)
		//	伊勢地域観光交通対策協議会(伊勢商工会議所)
R7.	6.	18	三木会(三重県自動車会議所会館)
R7.	6.	20	四日市市都市総合交通戦略協議会(四日市商工会議所)
R7.	6.	23	三重県地域公共交通協議会(JA三重健保会館)
R7.	6.	26	菰野町地域公共交通会議(菰野町役場)
		//	三重県自動車会議所第63回定時総会(ホテルグリーンパーク津)
R7.	6.	27	木曾岬町地域公共交通会議(木曾岬町役場)
		//	中部運輸局自動車技術安全部長との意見交換会(自動車会議所会館)
		//	バス協・JATA・ANTA協働での県教育長への教育旅行平準化要望(県庁)
R7.	7.	1	三重県バス協会第1回事故防止委員会(三重県総合文化センター)
R7.	7.	9	中部バス協会定時総会(名鉄グランドホテル)

R7.	7.	10	第1回運行管理者試験対策セミナー（三重県自動車会議所会館）
		//	鈴鹿四日市道路建設促進期成同盟会総会（鈴鹿市役所）
R7.	7.	11	松阪エリア交通円滑化WG（紀勢国道事務所）
R7.	7.	14	三重県道路交通渋滞対策協議会伊勢エリアWG（伊勢市役所）
		//	三重県警察官友の会通常総会（プラザ洞津）
R7.	7.	16	三重県道路交通渋滞対策協議会 津エリアWG（三重河川国道事務所）
		//	三重県道路交通渋滞対策協議会鈴鹿エリアWG（三重河川国道事務所）
R7.	7.	18	津商工会議所自動車部会視察見学会（大阪・関西万博）
R7.	7.	23	津駅周辺道路空間再編検討委員会（三重河川国道事務所）
R7.	7.	24	全国バス協会専務理事会（日本交通協会）
R7.	7.	25	四日市駅バスターミナル検討部会（四日市商工会議所）
R7.	7.	28	三重県社会基盤整備協会 講演会（プラザ洞津）
R7.	8.	4	東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会第1回WG（中部整備局）
R7.	8.	6	三重県道路交通渋滞対策推進協議会（三重河川国道事務所）
R7.	8.	8	テロ対策三重パートナーシップ推進会議（津リージョンプラザ）
R7.	8.	20	中部国際空港における海上アクセス活性化事業第1回検討会（津なぎさまち）
R7.	8.	21	三重県道路交通環境安全推進連絡会議（三重河川国道事務所）
R7.	8.	22	三重県道路利用者会議総会（三重県トラック協会）
		//	伊勢地域観光交通対策協議会（伊勢商工会議所）
R7.	8.	26	津商工会議所交通運輸自動車部会（津商工会議所）
R7.	8.	29	四日市中央通り再編関係者調整会議（四日市商工会議所）
R7.	9.	2	中部ブロック事業用自動車安全対策会議（WEB）
		//	津商工会議所見学会（大阪・関西万博）
R7.	9.	3	名張市地域公共交通会議（名張市役所）
		//	三重県不正軽油撲滅対策会議（三重県庁）
R7.	9.	4	安全性評価認定現地審査（四日市市・松阪市）
		//	東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会図上訓練（WEB）
R7.	9.	5	無事故・無違反チャレンジ123第2回実行委員会（書面）
R7.	9.	8	みえ交通安全・環境フェスタ連絡会議（三重県自動車会議所会館）
R7.	9.	9	3県バス協会合同安全セミナー（東京海上日動ビル）
R7.	9.	11	三重県バス協会第2回事故防止委員会（三重県総合文化センター）
R7.	9.	17	日本バス協会運営委員会・通常理事会（経団連会館）
R7.	9.	18	三木会（三重県自動車会議所会館）
R7.	9.	19	バスの日街頭 PR 活動（三重県下主要駅バス乗り場 12カ所）
R7.	9.	25	安全性評価認定現地審査（四日市市・桑名市）
R7.	10.	2	菟野町地域公共交通会議（菟野町役場）
R7.	10.	4	どらなびEXPO2025名古屋（名古屋国際センター）
R7.	10.	8	津商工会議所交通運輸自動車部会講演会（津商工会議所）
R7.	10.	8~9	中部バス協会技術委員会大会（福井県あわら市）
R7.	10.	9	テロ対策三重パートナーシップ推進会議合同訓練（志摩市阿児アリーナ）

R7. 10. 12	津まつりお絵かきバス（津法務総合庁舎（検察庁）横）
R7. 10. 16	国道1号桑名東部拡幅事業促進期成同盟会要望活動（中部地方整備局）
//	みえ交通安全・環境フェスタ連絡会議（三重県自動車会議所会館）
R7. 10. 18	どらなびEXPO2025関西（グランフロント大阪）
R7. 10. 20	安全性評価認定現地審査（四日市市・伊勢市）
R7. 10. 21	三重運輸支局長表彰式典（三重県総合文化センター）
R7. 10. 26	みえ交通安全・環境フェスタ（三重県総合博物館）
R7. 10. 27	F1日本グランプリ環境整備部会（鈴鹿市役所）
//	大都市交通センサス中京圏専門委員会（WEB）
R7. 11. 4	伊勢地域観光交通対策協議会（伊勢商工会議所）
R7. 11. 6	津商工会議所交通運輸自動車部会（ホテル津センターパレス）
R7. 11. 9	第44回全国豊かな海づくり大会 ～美し国みえ大会～（志摩市）
R7. 11. 11	バス危機突破 総決起大会（自由民主党本部）
R7. 11. 14	みえ松阪マラソン2025 第2回実行委員会（松阪市産業振興センター）
//	三重県ライフライン企業連絡会議（三重県庁講堂）
R7. 11. 19	三重県バス協会第3回事故防止委員会（三重県勤労者福祉会館）
//	貸切バス運賃・料金説明会（三重県勤労者福祉会館）
R7. 11. 20	三木会（プラザ洞津）
R7. 11. 26	東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会ワークショップ（桜華会館）
R7. 11. 27	中部国際空港における海上アクセス活性化事業第2回検討会（中部国際空港）
R7. 11. 28	伊勢地域観光交通対策協議会（伊勢商工会議所）
//	令和7年度「年末の交通安全県民運動」決起集会（近鉄四日市駅東口）
R7. 12. 1	三重県バス協会臨時理事会（プラザ洞津）
R7. 12. 3	中部運輸局 地域公共交通シンポジウム（WEB）
R7. 12. 4	中部運輸局事故防止セミナー（ウインクあいち）
R7. 12. 5	東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会第2回広域避難 MT（WEB）
R7. 12. 9	日本旅行業協会三重県支部定例会（アスト津）
R7. 12. 12～13	中部バス協会職員研修（静岡・伊豆）
R7. 12. 18	東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会第3回広域避難 MT（WEB）
//	みえ交通安全・環境フェスタ2025反省会（グリーンパーク津）
R7. 12. 20	四日市バスタ円形デッキ完成式典（近鉄四日市駅南広場）
R8. 1. 9	入居団体連絡会議（三重県自動車会議所会館）
R8. 1. 14	菟野町地域公共交通会議（菟野町役場）
//	令和7年度第1回飲酒運転〇をめざす部会（三重県栄町庁舎）
R8. 1. 15	無事故・無違反チャレンジ123 第3回実行委員会（吉田山会館）
R8. 1. 16	日本バス協会運営委員会・通常理事会（経団連会館）
//	四日市地域公共交通会議（四日市商工会議所）
R8. 1. 20	JATA中部支部 新年賀詞交換会（名古屋観光ホテル）
R8. 1. 27	三重県災害時交通マネジメント会議（WEB）
R8. 2. 4	名張市地域公共交通会議 事業推進部会（名張市役所）

- R8. 2. 5 鈴鹿F1 グランプリ地域活性化協議会（鈴鹿市役所）
- R8. 2. 6 名張市地域公共交通会議（名張市教育センター）
- R8. 2. 9 第2回運行管理者試験対策セミナー（三重県自動車会議所会館）
- R8. 2. 16 海上アクセス活性化事業 作業ワーキング（三重運輸支局）
- R8. 2. 19 伊勢地域観光交通対策協議会（伊勢市民活動センター）
- // 中部運輸局 運輸・整備業のジェンダー主流化セミナー（WEB）
- R8. 2. 25 三重県道路交通環境安全推進連絡会議（三重河川国道事務所）
- // 3県バス協会合同安全教育セミナー（名古屋東京海上日動ビル）
- R8. 2. 26 全国バス協会専務理事会（日本交通協会）
- R8. 2. 28 三重交通整備士体験会（三重交通中勢営業所）
- R8. 3. 2 木曾岬町地域公共交通会議（木曾岬町役場）
- R8. 3. 5 海上アクセス活性化事業第3回検討会（グリーンパーク津）
- R8. 3. 6 大都市交通センサス中京圏専門委員会（WEB）
- R8. 3. 10 三重県バス協会第4回事故防止委員会（三重県勤労者福祉会館）
- R8. 3. 12 図柄入り四日市ナンバー普及促進協議会（四日市市役所）
- R8. 3. 13 三重県バス協会第2回交付金運営委員会（三重県自動車会議所会館）
- R8. 3. 16 津駅周辺道路空間再編検討委員会（三重河川国道事務所）
- R8. 3. 17 中部貸切バス適正化センター評議員会議（WEB）
- R8. 3. 18 日本バス協会運営委員会・通常理事会（日本交通協会）
- R8. 3. 19 三木会（三重県自動車会議所会館）
- // 中部バス事業人材確保・育成対策会議（中部運輸局）
- R8. 3. 27 三重県バス協会 令和7年度第2回理事会（三重県自動車会議所会館）

以上。